



平成19年10月26日

各 位

会社名 ブルドックソース株式会社
代表者名 代表取締役社長 池田 章子
(コード番号2804 東証第2部)
問合せ先 取締役経営企画室長 佐藤 貢一
(TEL 03-3668-6811)

減損処理に伴う特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成20年3月期中間期において、下記のとおり減損損失を特別損失に計上することといたしましたのでお知らせいたします。また、この減損損失の計上及び最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年8月7日に公表いたしました平成20年3月期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の中間期及び通期業績予想（連結・個別）を、下記のとおり修正いたしますので、併せてお知らせいたします。なお、平成19年8月7日に公表いたしました配当予想につきましては、修正はありません。

記

1. 減損処理に伴う特別損失の計上

(1) 減損処理等の内容

当社は、平成20年3月期中間期において、連結会計上、連結子会社であるイカリソース株式会社ののれん代594百万円を減損処理し、特別損失に計上いたします。

なお、当社個別では、当社が保有するイカリソース株式会社の株式の減損処理を行い、関係会社株式670百万円の減損損失を特別損失として計上するとともに、貸倒引当金繰入額385百万円を特別損失に計上いたします。

(2) 今後の見通し

当社は、上記減損処理等に伴い、当社の業績予想を下記2.のとおり修正いたしますが、当社グループの営業キャッシュフローに与える影響はありません。

2. 平成20年3月期業績予想の修正について

(1) 当期の連結中間期業績予想数値の修正（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	中間（当期） 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 8,680	百万円 390	百万円 520	百万円 △1,370	円 銭 △19.73
今回修正予想（B）	8,100	200	300	△1,900	△27.36
増減額（B－A）	△580	△190	△220	△530	△7.63
増減率（％）	△6.7	△48.7	△42.3	－	－
（ご参考） 前期実績（平成19 年3月中間期）	8,658	527	730	491	26.27

（金額の単位：百万円）

(2) 当期の連結通期業績予想数値の修正（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純損益
前回発表予想（A）	百万円 17,000	百万円 900	百万円 1,100	百万円 △980	円 銭 △14.11
今回修正予想（B）	16,500	600	680	△1,700	△24.48
増減額（B－A）	△500	△300	△420	△720	△10.37
増減率（％）	△2.9	△33.3	△38.2	－	－
（ご参考） 前期実績（平成19 年3月期）	16,759	718	972	541	28.94

（金額の単位：百万円）

(3) 当期の個別中間期業績予想数値の修正（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	中間（当期） 純利益	1株当たり 当期純損益
前回発表予想（A）	百万円 5,850	百万円 360	百万円 480	百万円 △1,430	円 銭 △20.59
今回修正予想（B）	5,600	250	370	△2,300	△33.12
増減額（B－A）	△250	△110	△110	△870	△12.35
増減率（％）	△4.3	△30.6	△22.9	－	－
（ご参考） 前期実績（平成19 年3月中間期）	5,813	465	686	405	21.71

（金額の単位：百万円）

(4) 当期の個別通期業績予想数値の修正（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純損益
前回発表予想 (A)	百万円 12,000	百万円 850	百万円 1,050	百万円 △1,040	円 銭 △14.97
今回修正予想 (B)	11,600	600	720	△2,100	△30.24
増減額 (B - A)	△400	△250	△330	△1,060	△15.27
増減率 (%)	△3.3	△29.4	△31.4	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成19 年3月期)	11,853	861	1,164	677	36.20

(金額の単位：百万円)

(5) 修正の理由

上記1. の減損損失等の計上及び原材料価格・物流コストの高騰並びに食品業界における販売競争の激化により、連結及び当社個別とも、平成20年3月期中間期におきましては、売上高、営業利益、経常利益及び中間（当期）純利益は、前回発表予想を下回る見込みとなりました。また、通期におきましても、依然販売競争の激化及び原材料価格の高騰の傾向が継続することが予想されることから、上記のとおり前回発表予想を下回る見込みです。

なお、当社といたしましては、平成19年6月7日に公表いたしました当社の中期事業計画の達成に向け、全力で取り組みを進めており、その遂行を通じて中長期的観点に立って当社の企業価値ひいては株主の皆様の共同の利益を拡大すべく最善の努力を尽くしてまいり所存です。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上